

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表: 令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 神鳥谷教室 保護者等数(児童数) 9 回収数 9 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1			広すぎず、分かりやすいスペースの取り方で、子供も安心して取り組めている。	規定以上のスペースを用意している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9				生徒一人一人に付いてもらえるので安心する。	適切な配置をしている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		3	バリアフリーになっている。 気にして見たことがない。	スロープの設置と、 バリアフリーになっている。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9				面談やアンケートだけでなく、課題を確認してもらっている。	今後もニーズの確認の機会を十分に取りたい。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9				苦手なことを相談した際、後日プログラムに取り入れてもらって有り難い。	お子様一人一人に合わせ、固定化しないよう組み立てている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2			7	土曜利用の際は公園や買い物に行くので、交流はあると思う。	ニーズが挙げれば検討したい。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9				内容を丁寧に説明してくれた。 苦手なことを伸ばせる内容になっている。 日々成長を感じる。	利用者負担に関してはご契約時に必ずご説明している。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9				送迎利用だとあまり専門の先生に会えないが、電話でお聞きして安心できる。	お時間の確保が難しい保護者様に関して、より共通理解できる場の提供を検討したい。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9				学校での悩みが多いが、発達相談、面談などアドバイスを分かりやすくしてくれ、おかげさまで頑張れている。	面談に繋がらないご家族への支援も検討したい
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	1	6	情報交換の場があってもいいのかなと思う。 忙しくて参加できないので、今のところ必要ない。	検討していきたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			4	苦情が今まで一度もないため、分からない。	苦情があった際には、速やかに対応すると共に、全職員での会議、他の保護者様へも必要に応じて周知ご説明していく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9				毎週のように電話で相談を聞いてもらっている ので、とても助けられている。	今後も努めていきたい。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9				こぼん通信は参考になることも載せてくれているので、勉強になる。 こぼん通信が楽しみ。	今後も情報発信や活動内容等、提供していきたい。
14 個人情報に十分注意しているか	7			2	契約の際に説明を受けた。	徹底しているが、全ての方に安心して頂けるよう、ご説明したい。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	1			契約の際に説明を受けた。 入り口に貼ってあるので、子供が出てくる間、お迎えの時に目を通しながら待てるので、覚えやすい。	ご説明の機会を検討したい。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			1	1年通い、2回避難訓練があって安心した。	こぼん通信で通達している。半年に一度の定期的な訓練があり、全員参加できるよう1週間行っている。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	7	2			行き渋りもなく、楽しく通えているので安心してあげられる。	ゲームやYouTube等の提供をしていないため、通常の活動を充実させ、楽しみに繋げたい。
	18 事業所の支援に満足しているか	9				苦手もあるが、先生が手助けしてくれ、楽しかったと言っている。	ありがとうございます。今後もご満足いただけるよう努めていきたいと思っております。

131 7 1 23

81%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 神鳥谷教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		プログラムに応じて環境設定を変え、スペースも確保している。	
	2 職員の配置数は適切である	5		シフトで調整し、適切にしている。	余裕が持てるよう、職員数を増やしていきたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		玄関にスロープがあり、バリアフリー化されている。	設備の説明もしていきたい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		全員が参加している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		一人でもご理解が難しい課題や評価を徹底的に見直している。	職員全員で見直し、改善に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		本部のホームページと玄関で公開している。	より全ての方に公開できるよう見直したい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		評価を頂いた際には、職員全員で共有している	第3者に依頼の上の評価を検討したい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		放デイには放デイの研修があり、子供達の年齢に合わせた研修がある。研修以外でも適切な対応を教えてもらっている。	研修頻度を上げたい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		放課後等デイサービスご利用の際に知能検査を行い、かなり専門的。	常に行動観察や状態把握を行っている。その上で計画に反映させている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		同上	同上
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		専門家に助言を頂きながら、みんなで話合っている。	今後もチームで行っていききたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		都度、プログラム内容は工夫している。	話しあいや、お子様の状態に合わせ、工夫している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		全く違うプログラム内容となり、目標も違う。	長期休暇は時間配分等も話し合っていきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		全員参加の集団のプログラムと個別課題がある。	集団のプログラムへの参加に関して、お子様の状態やニーズに合わせて行うよう、今後も見直しや話し合いを重ねたい。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎朝、ミーティングで確認している。	出勤時間が遅い職員へ、説明の機会を徹底していきたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		シフト上、翌日行っている。	翌日行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		業務日報はかなり詳細に記載している。	日報の充実度を指導していく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的に面談をしている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5			
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		特下校時刻等は間違えないよう、確認している。	行事予定や下校時間は、ミスに繋がるため、今後は保護者様に提出を徹底的にお願いしたい。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		会議に参加している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		会議に参加している。	会議の他、報告書を作成している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		助言や研修の依頼がある。	検討したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5		お出かけ先で交流がある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0			検討したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		電話や連絡帳において、時間を確保し、安心してご利用頂けるような機会を作っている。	もっと頻度を上げていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		母子支援を行っている。	ペアレントトレーニングの枠を増やしたり、お父様参加のトレーニングを検討したい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		発達相談や電話、お手紙等のやり取りがある。	全てのご利用者様に行えるよう、検討していきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		苦情がない。	苦情があった際には、迅速に対応したい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		こぼん通信を発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	5		徹底的に管理されている。研修もある。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		研修があり、保護者の気持ちを考える機会となった。	常に職員へ伝えるようにしていきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		教室内に貼ってある。研修があるが、参加していない職員もいる。	周知の機会を増やしたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		実際に消火器を使った訓練は勉強になった。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		徹底した研修がある。	研修だけでなく、職員の状態把握に努めたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		現在、実例がない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		みんなで話し合い、どうすればミスがないのか会議を重ね、3人体制で管理している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		ヒヤリハットに繋がるような事もあまりない。	危険予測について再度、話し合いたい。現状、危険頻度は少ない。